

令和元年度第3回学校関係者評価委員会議事録

日 時：令和2年3月25日（水）13：00～14：27

場 所：千葉経済大学 大会議室

出席者：

1	佐久間 勝彦	理事長・大学学長・短期大学部学長・高校校長
2	佐久間 美羊	副理事長・准教授
3	小滝 敏之	常任理事・特任教授
4	山浦 裕幸	経済学部長・教授・理事・評議員
5	大沼 徹	こども学科長・教授・評議員
6	飯島 一生	高校副校長・評議員
7	山口 博	法人事務局長・大学・短期大学部事務局長・理事・評議員
8	小針 美由紀	高校教頭・評議員
9	長谷川七三一	千葉経済大学附属高等学校同窓会会長・評議員
10	堀井 満美	千葉経済大学短期大学部同窓会会長・評議員
11	嶋田 和雄	(株)グランドアール取締役・評議員
12	長谷川 美治	千葉経済大学父母の会会長・評議員
13	山田 高史	千葉経済大学短期大学部同窓会会長・評議員
14	大野 修一	千葉経済大学附属高等学校父母の会会長・評議員
15	畠山 一雄	(学)畠山学園理事長・評議員
16	茂手木 直忠	医療法人社団直心会理事長・校医・産業医・評議員
17	影山 美佐子	ビジネスライフ学科長・教授・評議員
18	山田 清實	元伊藤忠エネクス取締役会長・評議員
19	小澤 慶和	短期大学部非常勤講師・評議員
20	山口 和夫	(株)さつま屋社長・評議員
21	村松 重彦	(学)聖メリー学園・小ばと幼稚園理事長、園長・評議員
22	石渡 哲彦	株式会社千葉銀行顧問・評議員
23	佐久間道子	評議員
24	栗沢 尚志	大学教授・評議員
25	藤代 謙二	(株)ちばぎん総合研究所顧問・評議員
26	佐久間 達郎	評議員
27	積田 悟	前高校副校長・評議員
28	青柳 俊一	(株)千葉興業銀行会長・学園監事
29	植松 省自	税理士法人京葉会計事務所代表社員・学園監事

1. 開会のあいさつ

2. 理事長あいさつ

議題

【1】令和元年度補正予算について

石井 伸 会計課課長補佐から、別添1「令和元年度資金収支補正予算書・事業活動収支補正予算書」に基づき科目ごとに当初予算に対する補正後の増減額及び増減理由の説明があった。

【2】令和2年度事業計画について

山口 博 法人事務局長から、別添2「令和2年度事業計画（案）」に基づき、令和元年度と異なる点を中心に学園全体及び各学校の令和2年度事業計画が説明された。

基本方針

建学の精神「片手に論語 片手に算盤」及び校是・校訓に基づき、教育の質の確保・向上を図り、良識と創意に満ちた感性豊かな人材の育成の実現に向けて教育研究を推進する。

学園の発展を期するために、学生・生徒数の確保と徹底したコスト抑制を行い、財務体質の健全化を図りつつ、教育環境の整備を行う。

令和2年度事業計画

〔千葉経済学園〕

●建学の精神の啓蒙

建学の精神「片手に論語 片手に算盤」について、「今月の論語」の教室掲示や総合図書館の「論語コーナー」設置等の多様な取組みを通じて周知徹底を図る。

●大学・短期大学・高校の三者連携推進

「千葉経済学園三者連携会議」を軸に、ビジネス教育、入試、進路、広報、学生生徒の諸活動等にわたって学校間の密なる機能連携を図る。

●学園情報環境の整備とデータベース化

学園サーバ並びに大学と高校のネットワーク・スイッチを更新する。また、学園全部門の文書資料の体系化とデジタル化及びデータベース化を図るため、新たなシステムの導入に取り組む。

●ボランティア活動の推進

千葉経済学園ボランティアセンターを中心に、令和 2 年開催予定のオリンピック・パラリンピックにおける大会運営学生生徒ボランティアを支援するとともに、地域の関係団体と連携したボランティア活動を推進する。

●資格取得奨励

大学・短期大学・高校のそれぞれにおいて各種検定・資格試験の合格を奨励し、高度の資格取得者には奨励金を授与する。

●防災備蓄の整備

大学・短期大学・高校の学生生徒用に非常用食料や毛布等の防災用品を計画的に備蓄し、災害時に備えた対策を継続して推進する。

●働き方改革関連法への対応

職員の労働時間の短縮、その他の労働条件の改善や雇用形態の異なる職員間の均衡の取れた待遇を確保し得るよう規程を見直す。

[千葉経済大学附属高等学校]

●情報処理科（定員 80 名）への志願者増に鑑み、普通科の定員 360 名のうち 40 名を情報処理科に移して定員 120 名と改める準備手続きを行う。

●教育環境の整備

① 新校舎全体の照明器具を LED 照明に更新し、省エネ化に努める。

② 特進クラスに無線 LAN 環境を整備する。また、パソコン教室（1 教室）のパソコン 41 台を最新の機器に更新する。

●学力向上のための授業内容の充実

高校生に求められる資質と能力を高めるため、主体的・対話的で深い学びの視点で授業内容の研究に努める。

●特進クラスの教育充実と大学進学実績の向上

特進クラスの教育の充実を引き続き図り、国公立難関大学への進学実績を高めるとともに、多様化する大学入試にも対応した適切な進学指導を行う。また、英語 4 技能（読む・聞く・話す・書く）の向上を図る。

●専門科教育の充実

専門科目の教育の充実を図り、すべての生徒の資格取得を促すとともに高度資格に挑戦する生徒を支援する。また、商業教育の集大成としての位置づけで、課題研究の発展に努める。

●新指導要領への移行準備

新指導要領の公示を受け、令和4年度の次期指導要領への移行にむけ、カリキュラム及びICT活用の研究をもとに新カリキュラムを編成する。

●部活動の振興

「部活動の在り方」についてのガイドラインに則って、教員の働き方改革も含め、適切な運営のもと生徒の資質・能力を伸ばし各種大会での活躍を目指し、文化部においても学校内外に文化的発信ができるよう振興に努める。

●定員確保のための生徒募集活動の遂行

公立高校の入試一本化を踏まえて、入試のあり方を検討する。また、魅力ある高校としての広報充実に努め、より高い学力レベルの生徒や、いろいろな分野で頑張る生徒の入学が実現されるように、全教職員が総力をあげて取り組む。

●いじめ及び体罰の防止に努める

「いじめ及び体罰防止対策委員会」を活かして、いじめ及び体罰の防止に積極的に取り組む。

●教員研修の充実

経験年数の浅い教員への研修を計画的に実施し、教員としての資質の向上を図る。また、新学習指導要領の目指す学力の育成のため、教科研究授業や論語公開授業などにより、全教員の教育力の向上を目指すよう努める。

【3】令和2年度予算について

石井 伸 会計課課長補佐から、別添3「令和2年度資金収支予算書・事業活動収支予算書」に基づき、令和2年度補正予算との対比での説明があり、科目ごとに令和元年度補正に対する令和2年度予算の増減額及び増減理由の説明が行われた。

【4】千葉経済大学附属高等学校の生徒定員の変更及び同校学則の一部改正について

山口 博 法人事務局長から、別添9「千葉経済大学附属高等学校の生徒定員の変更に伴う学則の一部改正（案）新旧対照表」に基づき、生徒定員の変更及び学則の一部改正を

したい旨の説明が行われた。

【5】その他（報告事項等）

今年度、卒業生 576 名の内、4 年生大学への進学が 53.8%、短期大学は 11.8%、専門学校が 24.7%と 3 月 19 日現在で決まっております。全体の 90.3%で、元々の進学希望が 95.3%で、残り 5%につきましては 3 月 19 日以降結果待ち、あるいは挑戦をする。または浪人ということになります。現役合格が 90%を超えています。就職につきましては、希望者が 4.7%の内、3 月 19 日現在で、内定者 3.5%とすることで、特に就職につきましては、公務員の一般職に 1 名合格しております。近年、公務員については、警察、消防に限られていたのですが、一般職の方にも進むと言う結果が出ました。今後は、入学式を行ない 631 名の新入生を向かえます。